

令和6年度 武蔵村山市立第八小学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立第八小学校

校長名 牧 一彦

教育目標

人権尊重の基盤に立ち、創意に満ちた教育活動の推進に総力をあげ、人間性豊かで思いやりがあり、21世紀を逞しく生き抜く国際感覚豊かな子供を育てる。

- ◎考える子 きたえよう頭を
- 思いやりのある子 みがこう心を
- やりとげる子 つよくしよう心と体を
- 礼を重んずる子 あらわそう思いを
- 行動目標 わけをそえて話すことができる子

1 目指す特色ある学校像

自分大好き 友達大好き 学校大好き 八小の子 (目指す児童像)

人間力を高め、夢と希望を育み、笑顔あふれる学校 (目指す学校像)

苦楽を共にし、子供のために力を尽くす チーム八小 (目指す教師像)

- ① 地域を愛し、地域に開かれ、地域と共に歩む学校(CSを生かしたまちづくり学習)
- ② 午前5時間制により、元気、根気、本気、勇気(4つの気)を育む活力のある学校
- ③ 礼儀やマナーを身に付け、明るい挨拶やそっと会釈のできる温かみのある学校
- ④ 「楽しい授業」「わかる・できる授業」「考える授業」を通し、確かな学力を育てる教育力のある学校
- ⑤ 子供が学校を誇りに思い、保護者・地域に愛され、信頼される学校

2 学校経営の目標・経営の具体策

- (1) ●全国学力学習状況調査(算数科)における平均正答率を、令和7年度までに全国平均に引き上げる。
- (2) 令和6年度国立教育政策研究所教育課程実践検証協力校として、算数科を中心とした校内研究を充実・発展させ、教員全員の授業実践力のさらなる向上を図り、令和7年2月7日にその成果を広く発表する。(校内OJT、授業改善の充実)
- (3) 知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の向上のために、(1)「八小授業スタンダード」の実施と習熟タイムの活用、(2)算数科と漢字学習で期末テストの継続実施、(4)個別最適な学びを目指し、なるほど塾及び錬成塾等を行う。
- (4) GIGAスクール構想を推進し、PC端末等を授業、家庭学習、保護者連携に活用する。
 - ① 校内研究では研究授業を年3回、「一人一研究」の研究授業を一人2回ずつ実施する。
 - ② 学力向上委員会を中心に期末テストの成果検証を図り、次年度への改善に生かす。
 - ③ 早寝早起き・朝ご飯・歯磨き・家庭学習の励行とスクリーンタイムの制限等、家庭啓発に努める。
 - ④ 1人1台端末を「日々の授業」、「家庭学習」、「保護者連携」等に効果的に活用する。

小中一貫教育に向けた方策

(5)五中・一中校区の小中学校との連携を深め「9年間を見通した小中一貫教育の推進」を図る。

- ①五中校区合同研究の研究構想図・研究主題を定め、目指す生徒像の育成に向けて追究する。
- ②小中各校同士の交流をさらに推進し、異校種の教員による特別授業を試行する。
- ③次期学習指導要領を見据えた五中校区スタンダードの改訂を図り、より実効性を高める。